

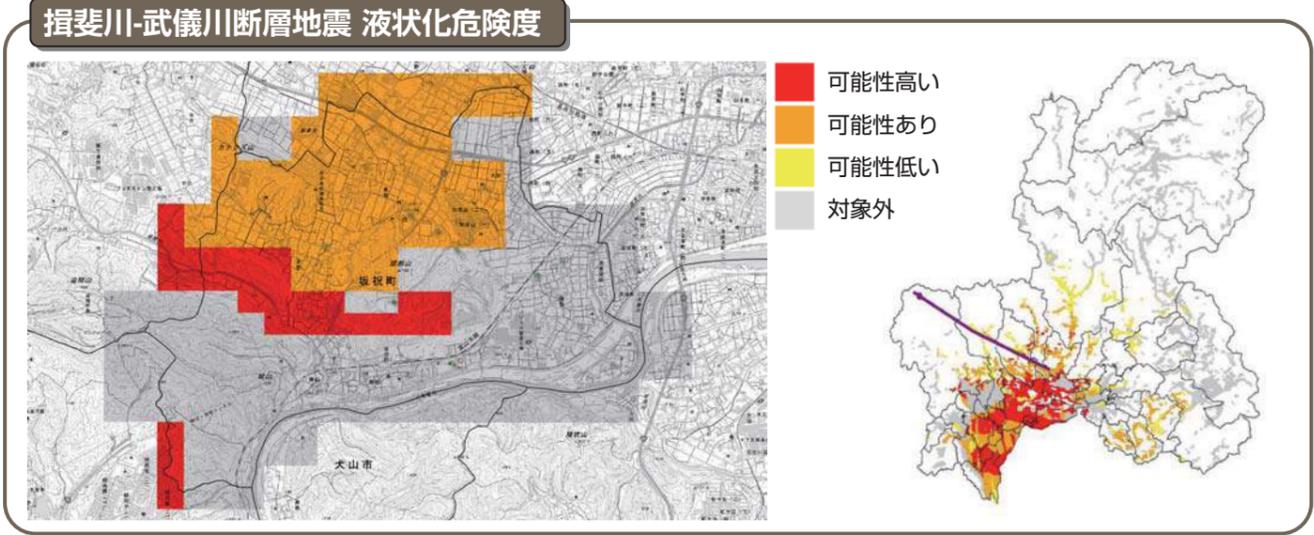
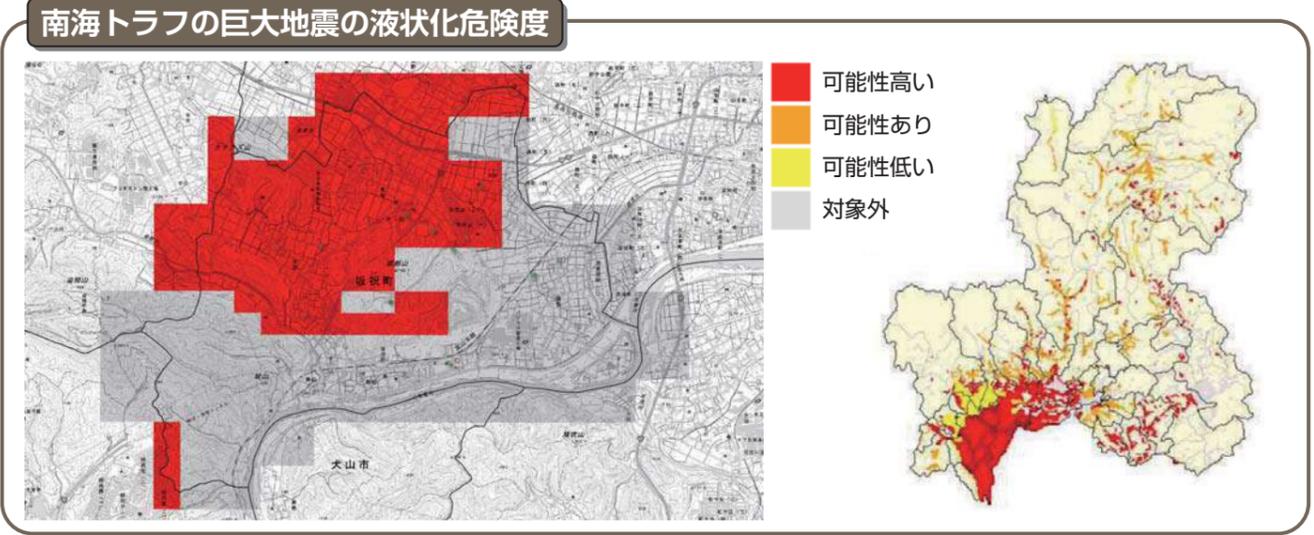
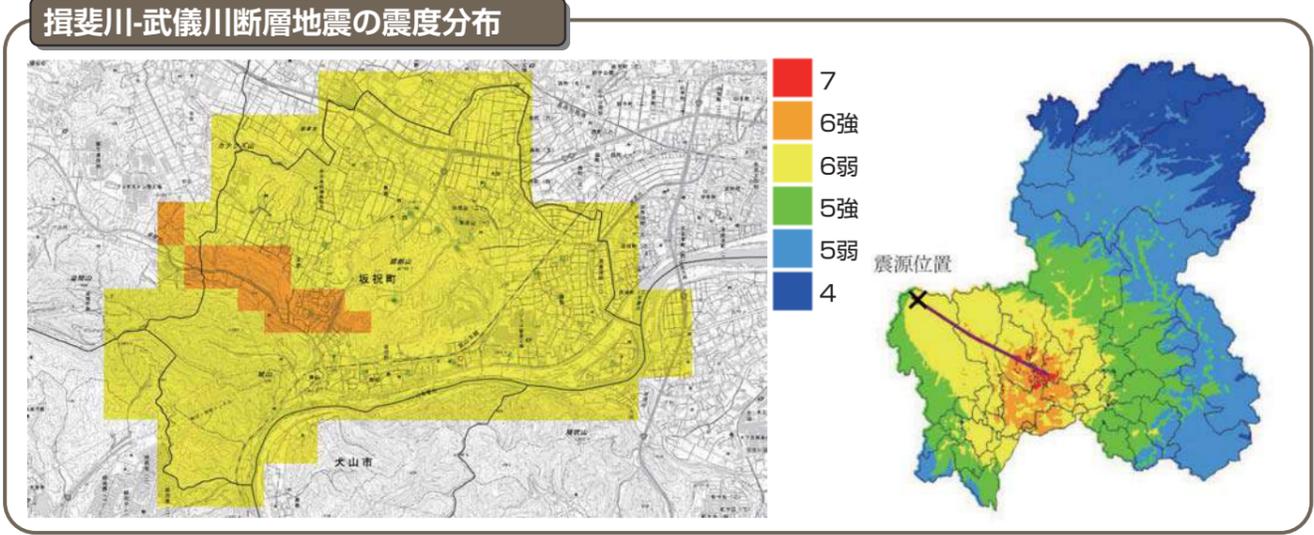
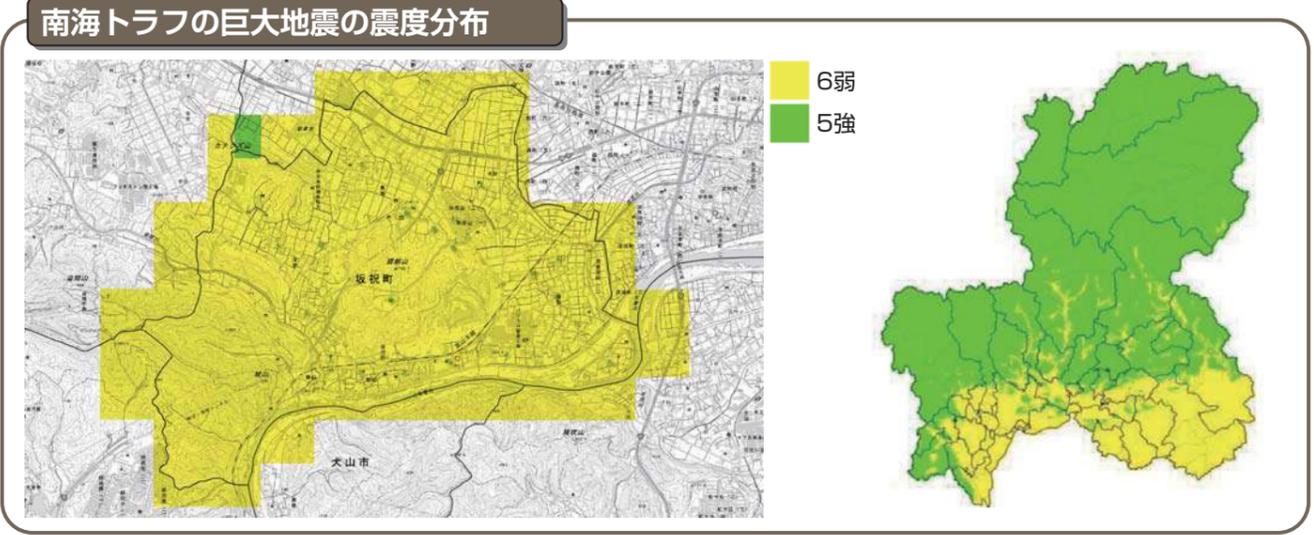
地震ハザードマップ

**地震が起きたら、緊急地震速報を見聞きしたら
くあわてず、まず身の安全を！**

震度と液状化危険度のマップを示しています。
自宅周辺の震度の大きさや液状化の可能性を確認してください。

家屋の耐震化や家具の固定など、日頃から地震に備えましょう！！

坂祝町は、内閣府が指定する「南海トラフ地震防災対策推進地域」に入っています。
南海トラフの巨大地震の新たな想定震源断層域(強震断層域)におけるマグニチュード9.0規模で、その基本ケースと同じ震源を想定した震度分布、液状化危険度の分布を示します。30年以内に、70%~80%の確率で起こることが予想されています。
坂祝町への影響が最も大きい直下型地震である「損斐川-武儀川断層地震」の震度分布と液状化危険度分布を示します。M7.7程度を想定したものです。30年確率は明らかではありませんが、もしものときに備えてください。



地震階級

震度3以下	屋内にいる人が揺れを感じる。	震度6弱	立っていることが困難になる。固定していない家具の大半が移動し、倒れるものもある。ドアが開かなくなることがある。壁のタイルや窓ガラスが破損、落下することがある。耐震性の低い木造建物は、瓦が落下したり、建物が傾いたりすることがある。倒れるものもある。
震度4	かなりの恐怖感があり、一部の人は身の安全を図ろうとする。	震度6強	立っていることができず、はわないと動くことができない。飛ばされることもある。固定していない家具のほとんどが移動し、倒れるものが増える。耐震性の低い木造建物は、傾くものや、倒れるものが増える。大きな地割れが生じたり、大規模な土すべりや山林の崩壊が発生することがある。
震度5弱	多くの人が身の安全を図ろうとする。一部の人は、行動に支障をきたす。	震度7	揺れにほんろうされ、自分の意思で行動ができない。
震度5強	非常な恐怖を感じる。行動に支障をきたす。物につかまらないと歩くことが難しい。棚にある食器類や本で落ちるものが増える。固定していない家具が倒れることがある。補強されていないブロック塀が崩れることがある。		

